

## 2021 年度実施概要

学校名

長崎県大村市立松原小学校

採択活動名

松原の自然に親しみ、海を愛する活動

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. イカ漁・カサゴの稚児放流体験をしよう	5、6年	総合
2. 海での安全な過ごし方について知ろう（水難防止講習会）	5、6年	総合
3. ヨット体験をしよう	5、6年	総合
4. 専門家から詳しく学ぼう（水質浄化実験等）	6年	総合
5. 学習したことをまとめ、発信しよう	5、6年	総合

取り組みの概要

## 1. イカ漁・カサゴの稚児放流体験をしよう

大村市農林水産振興課及び大村市漁業協同組合松原支部の協力のもと、イカの刺網漁と種苗放流体験を実施した。児童にとっては慣れ親しんだ松原の海であるが、実際にイカのかかった網を引いたり、放流したカサゴの種苗が海を元気に泳ぐ姿を見たりすることで、新たな魅力を見出すことができた。

## 2. 海での安全な過ごし方について知ろう（水難防止）

佐世保海上保安部の指導のもと、水難事故防止の観点から講習と実習を実施した。児童からは「海や川で溺れそうになった場合にどうすればよいか分かった。」「ペットボトルやビニール袋でも体が浮くことを体験することができた。」などの感想があり、水の事故に遭遇した場合にどうすればよいかということについて、実感を伴いながら理解することができた。また、海上保安部の仕事内容を聞くことで、「人のために役立つ仕事に就きたい。」という声も聞かれ、キャリア教育の視点からも学びを深め、意識を高めることができた。

## 3. ヨット体験をしよう

県立長崎工業高等学校ヨット部監督及び部員を招聘し、ヨット体験活動を実施した。陸上でヨットの組み立て方の説明を受け、実際に組み立てたり、操作の仕方を学んだりした。その後、松原漁港から沖に出てヨットの操作体験を行った。天候にも恵まれ、さわやかな潮風を受け、気持ちよく海上を帆走することができ、ヨットのすばらしさや楽しさを体感することができた。ふるさと松原のもつ豊かな海の魅力を再確認することができた。

また、本年度のインターハイで日本一となった長崎工業高校ヨット部の方々から教えていただくことで、「自分もヨット部の皆さんのように、高い目標をもって頑張っていきたい。」などといった児童の感想もあり、あこがれや志につながる体験となった。

#### 4. 専門家から詳しく学ぼう（水質浄化実験等）

長崎大学大学院工学研究科、NPO法人長崎海洋環境研究会の御協力のもと、水質浄化実験に取り組んだ。活動の概略や実験や水質の測定方法について説明を受けた。週に2回児童が測定に取り組み、「なぜ、カキ殻と炭を通すことによって水が浄化されるのか」について実験データを基に、確かめることができた。報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインで長崎大学及び海洋環境研究会をつなぎ実施した。本校の実験用水槽にいる微生物を大学院の高性能の顕微鏡を使って見せていただいたことは、微生物の存在を確認し、本取組のメカニズムの解明につながった。児童からは、「学習したことを生かして、将来環境を守っていくものを作り出したい。」という感想があり、環境保全のために自ら働き掛けようとする意識の向上につなげることができた。

#### 5. 学習したことをまとめ、発信しよう

上記の四つの内容について発表会を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から残念ながら保護者やお世話になった方々を招いて発表することはできなかったが、児童は、タブレット PC のスライド機能を使って、活動中の写真やグラフ等をスライドに効果的に交えながら発表することができ、情報活用能力の育成を図ることができた。

※発表の様子をタブレット PC に保存し、各家庭に持ち帰らせ、保護者が見られるようにした。

#### 活動中の写真

